

令和8年度 学校経営計画書

学校番号	66	学 校 名	静岡県立磐田北高等学校	校 長 名	上山 万里子
------	----	-------	-------------	-------	--------

1 スクール・ミッション

校訓「優しく 逞しく 誠実に」のもと、多様な生き方や価値観を認め、人との関わりの大切さを体験から学ぶ教育を通して、自他の人間性と人格を尊重できる人権意識を高め、個人として自立することができる生徒を育成する。また、進学から就職まで生徒の多様な進路希望や一人ひとりの適性に応じた学びを実現し、心身ともに健康なたくましさで未来を切り拓き、社会の変化に対応できる資質・能力及び実践力をもつ生徒を育成する。

2 スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
～本校では卒業までにこのような力を身に付けます～ ・他者を思いやり、協働しながら自己の能力を発揮し、地域社会に貢献する力 ・課題解決に向け、粘り強く取り組み、未来を切り拓いていく力 ・自分の可能性と真摯に向き合い、チャレンジしようとする力	～本校ではこのような学びを行います～ ・四年制大学進学をはじめとし、就職も含めた多様な進路に対応した学び ・ICTを活用した個別最適かつ協働的な学習 ・自己有用感・自己肯定感を得られる講演や体験活動 ・3カ年を貫く「総合的な探究の時間」の充実と「福祉マインド」の醸成	～本校ではこのような生徒を求めています～ ・仲間と関わり、共に思いやる心を持つ生徒 ・自ら学び、自己の目標に向かって努力することができる生徒 ・地域や世の中に目を向け、課題を見つけ、解決・貢献しようとする意欲のある生徒 ・「明るいあいさつ、元気な返事、いつでも笑顔」

(2) 目標具現化の柱

ア 生徒一人ひとりが自らの資質・能力を高め、将来において社会的に自己実現が出来るようになるための自己管理能力を育成する。

イ 高い志を実現するために、学習や体験的な活動に積極的に向かう主体性を育む。

ウ 個としての自分を大切にし、他者との関わりの中で自己有用感を育み、集団の一員として責任のある行動をとる社会性・人間性を育む。

エ 学校・家庭・地域と連携した教育活動を行い、保護者・地域に信頼される学校づくりを推進する。

オ 体験活動や講演・講話を通して「福祉マインド」を醸成するとともに、特に福祉科においては医療分野等との連携ができる高度な知識・技能の習得を通して、共生社会の創造と地域福祉に貢献する人材を育成する。

カ 「オフィスアワー」と「業務の平準化（本校独自のパッケージ）」の実施により、生徒が自主的に行動できる環境の中で自ら学び自ら行動できる人材を育成するとともに、教員が自ら働く時間を設定し健康確保措置や業務量管理を図る。

様式第1号

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	生活習慣の確立	- 生徒が自らTPOに合わせた身だしなみを意識するように声掛け、気持ちのいいあいさつを実行する - スマホの適切な使用（マナー、投稿内容等）について、保護者と連携して指導し、自己管理を徹底させる	- 場に応じた服装や態度が自らできる(90%) - 不適切な画像や動画、コメントなど投稿しない(100%)	生徒課
	学習習慣の確立	- 基礎的な読解力や文法理解の定着を図るとともに、課題・小テスト・Weekly Test やスタディサプリの活用により、計画的かつ継続的な家庭学習を促す - 定期テストの範囲提示や振り返り活動、対話活動を通して学習の見通しと課題意識を持たせ、主体的な学習習慣の確立につなげる	計画的に学習に取り組んでいる(80%)	教務課 各教科
	生徒の学力にあった指導方法の検討	- 生徒の実情や学力に応じて教材や課題、個別の目標設定を工夫するとともに、ICT機器や補助教材等を効果的に活用し、多様な学習手段を提供する - 対話・振り返り活動等を授業展開に取り入れ、基礎的学力の定着と個に応じた学びの充実につなげる	授業がわかり、学びの楽しさを身に付けることができる(85%)	各教科
イ	魅力的な授業の実施	- ICT機器の効果的な活用や評価基準の見直し、教員相互の授業参観や共同研修を通じた知見の共有により、年間を見通した授業改善と教材研究を推進する - グループ・ペアワークや実技・体験的学習、身近な題材の活用と生徒との対話を通して、誰もが参加しやすく主体的に学べる魅力的な授業づくりを実現する	学校の授業に主体的に取り組んでいる(85%)	教務課 全職員
	一人ひとりの視野を広げる活動の推進	- 大学・専門学校・企業等からのガイダンス情報を共有・周知するとともに、模擬授業の招致や進路・職業情報誌の整備を行う - 図書だよりや図書館の棚づくり、Cラーニング掲示板を活用した本の紹介と、図書委員による選書の充実を通して読書活動の活性化を図る。 - 北っ子ルームの整備充実	- オープンキャンパスや大学の模擬授業等、自身の進路について考える活動に参加した(90%) - 生徒が企画した図書館だよりの発刊(毎月1回) - 朝活で積極的に読書した(100%) - 新聞や書籍等、紙媒体の文化的資料を図書館・進路資料室等と協同して適宜提供する	進路課 総務課
ウ	生徒主体の活動の推進	- 福祉科展や学校行事の企画・実施を生徒主体で行うことができるよう、LHRや授業においてリーダー育成を意識した活動を展開する - オフィスアワーや個別最適な講座の開講を通して、生徒の意欲や進路に応じた主体的な学びを支援する	- 学校行事に生徒が主体的に関わっている(100%) - 生徒が放課後、自己向上・探究的活動を行う(80%)	生徒課 福祉科 オフィスアワー担当者
	多様な他者との共生の推進	- 見付分校との交流学習や、社会福祉協議会主催の多世代交流会、ひまわりの会を通じたボランティア活動への参加を通して、多様な他者に関わる機会を充実させる - 共生共育の視点を取り入れた交流活動や学校行事を推進し、他者理解を深めながら共生社会の実現に向けた態度を育成する - SNSの活用について、常に他者の人権を意識した情報発信となるような啓発活動を展開する	- 見付分校との交流の促進 - SNSに関連した啓発活動を学期に(2回)以上行う	生徒課 福祉科

様式第1号

	学校の一員としての施設の使用	・教室や部室の整理整頓や私物の管理を指導する ・共有場所の使用方法を理解させる	・学校が整理整頓されて清潔に保たれている ・部室や教室における盗難の件数0件 ・落とし物の持ち主が申し出る割合を増やす	
	心身ともに健康で安心・安全な学校生活を送る	・人間関係エクササイズ、教育相談、多学年との交流をさらに充実させ、各種検査の有効活用を通して、生徒の心身の健康を支援する ・安全点検の定期的な実施と迅速な対応を行う	・学校には自分の居場所があり信頼できる仲間や先生がいる(100%)	
エ	地域への情報発信の充実	・ホームページやInstagramを用いた積極的な情報発信を行う	・ホームページ・Instagram年(150回)の更新	総務課
	防災体制の整備	・年3回の校内防災訓練の実施 ・地区別集会の実施 ・地域防災訓練への参加呼びかけ	・防災訓練を通して、防災意識が向上している(80%以上)	
	P T A 活動等の整理及び推進	・P T A役員会や書面開催による総会、学年委員会・専門委員会の実施および学校行事への参加の呼びかける	・P T A活動は、生徒・保護者にとって有用なものとなっている(70%以上)	
	信頼ある窓口	・新任事務職員向けに「窓口接遇ガイドライン」を整備し業務の質を担保する	・窓口業務関係の苦情0件	事務室
オ	地域福祉に貢献できる人材の育成 関連分野の資格取得を目指す	・I C T機器を活用した主体的な学習や校内実力テスト・外部模試の計画的実施、介護技術コンテストへの挑戦を通して、基礎学力と介護技術の習熟、福祉マインドの向上を図る ・地域福祉との連携を重視した介護実習や積極的な講師招請事業を通じて、地域に貢献できる人材の育成を推進する	・各種大会で、授業や実習など日頃の学びの成果が現れる結果を目指す ・介護福祉士国家試験全員合格(100%)	福祉科
カ	適切な業務の遂行	・オフィスアワー制度による、放課後を活用した生徒の多様な活動を支える ・教員が自ら選択したパッケージでの業務を遂行し、業務の平準化を図る	・年間総時間外在校等時間を全職員年間平均360時間以下(100%) ・月時間外在校等時間を全職員年間平均40時間以下(100%) ・監査での指導・指摘事項0件	全教職員
	コア人材の育成	・「働きやすさ」と「働きがい」の充実を追求する研修を行う ・学校運営に関する具体的な改革を提案する	・「働きやすさ」と「働きがい」を実感する(100%)	管理職